

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

佐賀県太良町 町立太良病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	その他
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	7	-	訓練	救輸
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
8,256	6,606	第2種該当	-	10:1

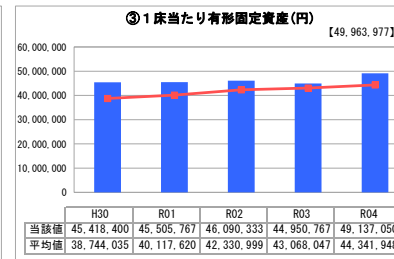
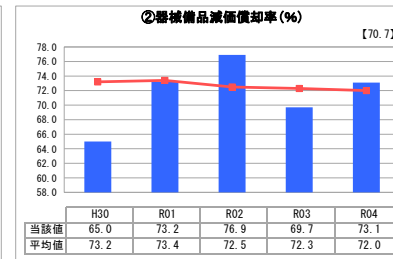
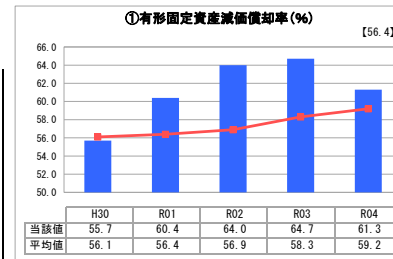
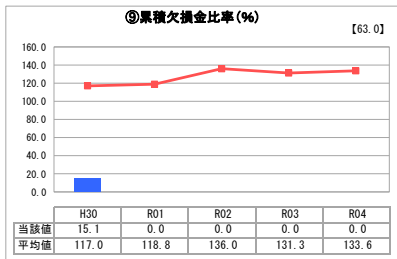
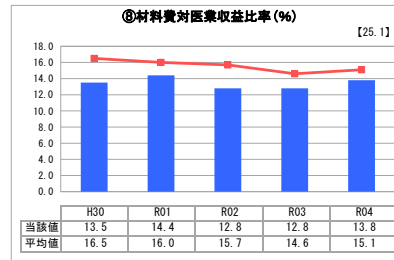
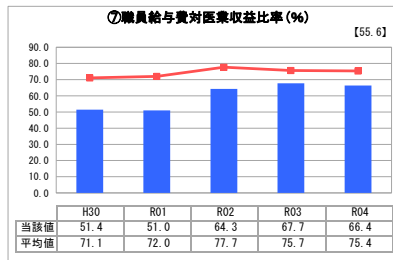
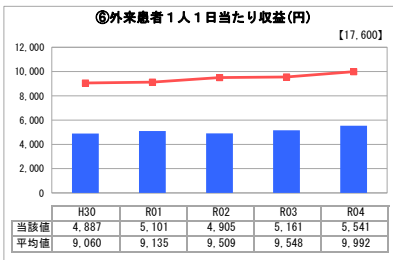
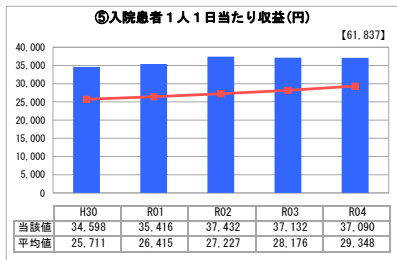
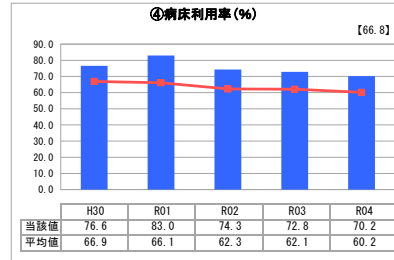
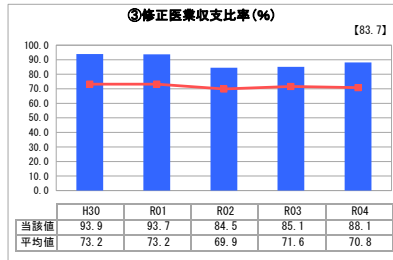
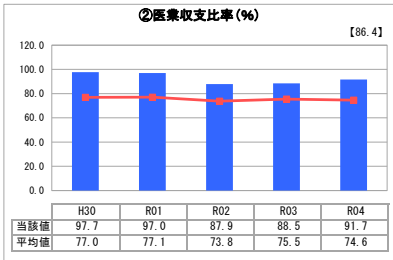
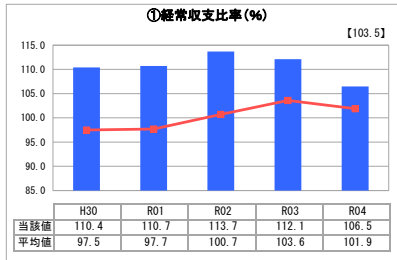
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輸…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
60	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	60
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
60	-	60

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
[ ]	令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）		
高齢化・高齢者	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

### I 地域において担っている役割

佐賀南部医療圏の南端に位置する人口8000人の町で、入院患者の75%、外来患者の90%が町内の方になり、地域のかかりつけ医療機関の役割を担っている。また、整形外科は年間195件の手術を行っており、小規模ながら内科、整形外科を中心に地域のニーズにあった医療提供が出来る。高齢化が進んでいる中、在宅医療や訪問看護、訪問リハビリ、訪問看護も必要性を増しており、地域包括ケアシステムの中心となり、救急医療、小児医療から在宅医療介護まで幅広くカバーしなければならない。また、町内唯一の病院として、感染症患者受け入れ、及び予防接種事業等、保健分野の対応も必要とされている。

### II 分析欄

#### 1. 経営の健全性・効率性について

本年度も新型コロナウイルスの影響（院内クラスター2回）と内科常勤医師の減で利用率が低下したが、医業収入としては外来患者の増加もあり増加となった。コロナ患者の受け入れ施設としての補助金等がなくなっ影響もあり、経常収支としてはマイナスとなっている。外来単価の増加は、コロナ患者増による検査増が影響したと考える。給与費率は、令和2年度からの会計年度のフルタイム任用の増加によるものだが、医業収入の増加で比率としては前年より改善している。材料費率は手術の増や価格上昇の影響が出てきている。材料費率は今後も価格交渉を徹底的に行う。委託費や光熱水費の増加もあるため、経費全体の削減に努め、医業収支比率100%以上を目指す。

#### 2. 老朽化の状況について

新築後17年が経過し修繕費等も増加傾向にある。減価償却率が類似病院よりも高くなってきているが、償却期間や耐用年数以上に大切に使用し、施設の長寿命化計画を参考にしながら、計画的な更新を行う必要がある。小規模病院で1床当たりの有形固定資産は高くなってしまいが、町内唯一の病院で救急から在宅までの必要な医療を提供していくためには欠かせない投資も多いと考える。今後とも計画的な投資と設備維持に努めなければならない。

#### 全体総括

経営状況は改善傾向にあるが、内科常勤医師の減は入院収入に大きく影響している。これまで以上に、医師確保を多面的に行う必要がある。町内唯一の病院として、必要とされている部分に力を入れていき、収益改善に努めなければならない。費用面では処遇改善による人件費増や、委託費、光熱水費等が増加傾向にあるが、経費の削減に取り組むことと、必要な設備投資を行いながら健全経営を行ってきたい。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。